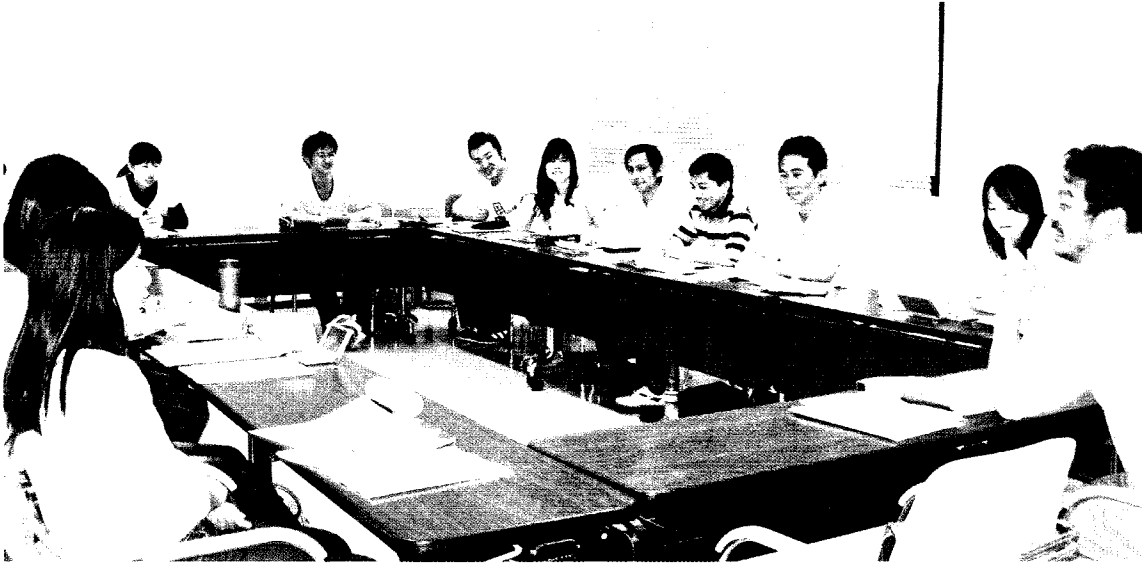


# 博士課程後期課程



博士前期課程の修了後、より深い研究や、より高度な専門性をめざすための博士後期課程を設置しています。この課程に在籍する学生は、研究科が提供する教育・研究プログラムのもとで、それぞれの分野の研究に専念することになります。修了後に大学、調査研究機関、国際機関、政府機関などで働くことをめざし、優れた研究業績をあげることが求められます。

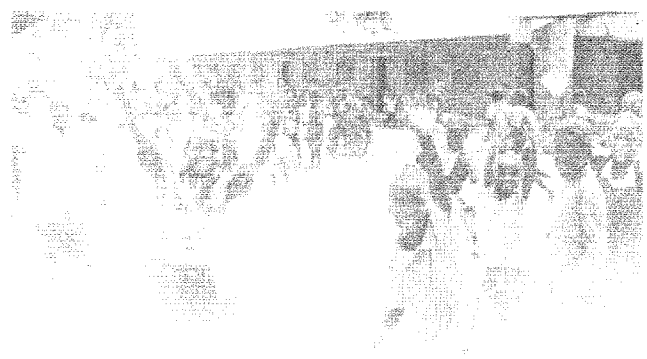
前期課程の修了後、後期課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格することにより、後期課程を修了します。とくに優秀な業績をあげた場合は、後期課程に1年（2年未満の在学期間をもって前期課程または修士課程を修了した場合は、その在学期間と合わせて3年）以上在学すればよいこととなっています。修了者には博士（学術）、博士（経済学）、博士（法学）、または博士（政治学）の学位が授与されます。

博士後期課程では、特殊研究（8単位必修）、特殊研究報告（2単位必修）のほか、ワークショップI、II、インナーサークル、高度海外研究、国際会議出席費、それぞれ各単位（1単位あたり3単位）を履修し、指導教員に論文指導を受けなければなりません。



博士後期課程1年  
**河田宗三郎**

博士後期課程において、日本によるインドネシア民事訴訟制度整備支援の評価手法について研究しています。本研究科では院生の海外実習を奨励しており、私も、インドネシアでの現地調査の他、学会出席や比較研究のため3回大学の費用補助を受けて海外実習を行いました。前期課程院生の指導補助を担当させて頂くこともあります。ゼミでの留学生との討論も大学院での楽しみの一つです。



G S I  
C S

神戸大学大学院  
国際協力研究科





---

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

TEL. (078)803-7267(教務係)

(078)803-7265(総務係)

FAX. (078)803-7295

<http://www.gsics.kobe-u.ac.jp/indexj.html>